



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月25日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7970 URL <https://www.shinpoly.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 義昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 平澤 秀明 (TEL) 03(5289)3716  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年11月26日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	42,306	8.5	3,780	8.9	4,177	14.8	2,980	16.7
30年3月期第2四半期	38,991	6.7	3,470	4.3	3,637	25.5	2,553	16.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,944百万円(△9.6%) 30年3月期第2四半期 2,150百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	36.53	36.46
30年3月期第2四半期	31.09	31.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	104,363	79,048	75.6
30年3月期	103,667	77,510	74.6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 78,865百万円 30年3月期 77,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
31年3月期	—	8.00			
31年3月期(予想)			—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	4.6	7,700	6.8	8,000	10.0	5,700	4.5	69.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	82,623,376株	30年3月期	82,623,376株
31年3月期2Q	987,932株	30年3月期	1,022,252株
31年3月期2Q	81,606,481株	30年3月期2Q	82,139,495株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気拡大基調が続きましたが、保護主義的な経済政策の台頭やそれに伴う通商摩擦の懸念など、先行きに不透明感が生じました。米国では雇用環境の改善が継続し、個人消費も底堅く推移しました。欧州では一部の国の政治不安があるものの、内需は底堅さを維持して景気拡大傾向にありました。また、アジアでは中国での輸出減速が懸念されるものの景気安定度合いが向上し、ASEAN諸国でも景気回復傾向が続きました。

日本経済は、景気先行きに警戒感が始めているものの、企業の輸出、生産活動、設備投資が堅調に推移し、個人消費も底堅く、緩やかな景気回復が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、半導体業界の活況が継続し、自動車関連分野の需要も順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは国内外において主力製品及び新規事業製品の拡販に注力した営業活動を継続的に展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は423億6百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は37億80百万円（前年同期比8.9%増）、経常利益は41億77百万円（前年同期比14.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億80百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に順調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回りました。

主力の入力デバイスは、自動車電装スイッチの種類や搭載車種の増加により、キースイッチとタッチスイッチの需要が増えて好調な出荷で推移しました。一方、薄型ノートパソコン用タッチパッドは、新規製品の納入が先送りされ、従来製品の出荷にとどまりました。ディスプレイ関連製品は、液晶接続用コネクタが低調でしたが、視野角制御フィルム（VCF）の新規用途の売上げが加わりました。コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクタがスマートフォン用部品の需要回復により出荷が伸びました。

この結果、当事業の売上高は102億80百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は6億96百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

#### ② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器の出荷が好調に推移し、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。

半導体関連容器は、半導体業界の旺盛な需要を背景に300mmウエハー用及び小口径ウエハー用製品の高水準な出荷と、価格改定により、売上げを大きく伸ばしました。OA機器用部品は、主力のレーザープリンター用現像ローラの需要が伸びず、売上げは前年を下回りました。キャリアテープ関連製品は、高級スマートフォン用電子部品の需要回復などにより、売上げは前年並みとなりました。シリコンゴム成形品は、主力のメディカル関連製品が堅調に推移して、売上げを伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は184億52百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は27億64百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

#### ③ 住環境・生活資材事業

当事業では、塩ビ関連製品の市場環境が非常に厳しい中、価格改定や生産効率化に努める一方、新規事業製品の拡販により、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。

ラッピングフィルムなどの包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向けの価格改定ができたものの、自然災害の影響もあり、全体的に出荷が伸びず、売上げは横ばいでした。塩ビパイプ関連製品は、競争が激しい中、価格改定に努めましたが、出荷量が伸びず、売上げは横ばいでした。機能性コンパウンドは、自動車用とロボットケーブル用が好調な出荷を継続して、売上げを伸ばしました。外装材関連製品は、市場低迷の中、新規取引先への拡販、価格改定、製品ラインナップ拡充により、売上げを伸ばしました。新規事業製品である導電性ポリマーが、帯電防止剤用途や電子部品用途で大きく伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は97億90百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は1億89百万円（前年同期比134.4%増）となりました。

④ その他

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件の受注が増えました。

この結果、その他の売上高は37億82百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は1億29百万円（前年同期比336.5%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月24日に公表いたしました平成31年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,107	41,785
受取手形及び売掛金	19,358	21,041
電子記録債権	2,909	2,949
商品及び製品	6,494	6,107
仕掛品	1,341	1,309
原材料及び貯蔵品	2,759	2,906
未収入金	1,677	1,272
その他	514	488
貸倒引当金	△350	△403
流動資産合計	77,813	77,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,780	8,483
機械装置及び運搬具(純額)	4,928	5,661
土地	6,715	6,679
建設仮勘定	2,470	1,112
その他(純額)	1,305	1,469
有形固定資産合計	22,200	23,406
無形固定資産		
ソフトウェア	102	113
その他	72	64
無形固定資産合計	174	177
投資その他の資産		
投資有価証券	1,221	1,275
繰延税金資産	1,267	1,130
その他	989	915
投資その他の資産合計	3,478	3,321
固定資産合計	25,854	26,905
資産合計	103,667	104,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,667	11,928
電子記録債務	1,258	2,172
短期借入金	0	—
未払金	3,187	2,552
未払法人税等	914	1,154
未払費用	2,323	2,522
賞与引当金	1,254	1,405
役員賞与引当金	37	24
その他	1,511	1,819
流動負債合計	24,155	23,578
固定負債		
退職給付に係る負債	1,675	1,480
その他	326	256
固定負債合計	2,001	1,736
負債合計	26,156	25,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,718
利益剰余金	56,403	58,887
自己株式	△1,033	△998
株主資本合計	77,724	80,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	463	498
為替換算調整勘定	△807	△1,878
退職給付に係る調整累計額	2	0
その他の包括利益累計額合計	△341	△1,378
新株予約権	127	183
純資産合計	77,510	79,048
負債純資産合計	103,667	104,363

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	38,991	42,306
売上原価	26,843	29,289
売上総利益	12,148	13,016
販売費及び一般管理費	8,677	9,235
営業利益	3,470	3,780
営業外収益		
受取利息	117	163
為替差益	60	205
その他	27	47
営業外収益合計	206	416
営業外費用		
支払利息	11	11
固定資産除却損	26	6
その他	0	2
営業外費用合計	39	20
経常利益	3,637	4,177
税金等調整前四半期純利益	3,637	4,177
法人税、住民税及び事業税	971	1,142
法人税等調整額	112	53
法人税等合計	1,084	1,196
四半期純利益	2,553	2,980
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,553	2,980



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	2,553	2,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	34
為替換算調整勘定	△447	△1,070
退職給付に係る調整額	0	△1
その他の包括利益合計	△402	△1,036
四半期包括利益	2,150	1,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,150	1,944

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,637	4,177
減価償却費	1,335	1,626
受取利息及び受取配当金	△131	△180
支払利息	11	11
為替差損益(△は益)	△73	△106
固定資産除却損	26	6
売上債権の増減額(△は増加)	△921	△2,023
たな卸資産の増減額(△は増加)	△357	107
仕入債務の増減額(△は減少)	1,710	△566
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30	△195
未払又は未収消費税等の増減額	△46	422
その他	232	752
小計	5,453	4,031
利息及び配当金の受取額	132	184
利息の支払額	△12	△11
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△761	△976
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,812	3,228
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	163	△5
有形固定資産の取得による支出	△1,663	△3,578
その他	△28	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,528	△3,614
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△491	△491
その他	14	27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477	△464
現金及び現金同等物に係る換算差額	△245	△454
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,561	△1,304
現金及び現金同等物の期首残高	38,981	41,982
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	350	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,894	40,677

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,698	16,770	9,094	35,563	3,428	38,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,698	16,770	9,094	35,563	3,428	38,991
セグメント利益(営業利益)	851	2,508	80	3,440	29	3,470

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,280	18,452	9,790	38,523	3,782	42,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,280	18,452	9,790	38,523	3,782	42,306
セグメント利益(営業利益)	696	2,764	189	3,650	129	3,780

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。